



定例会
毎月第1日曜

知的夢工房

発明、アイデア、知的財産を楽しむ会

第191号

平成29年6月4日

発行 知的夢工房

熊本

TEL.050-3344-5032



人工知能（A I）はどこまで進化？！



人口知能(A I)の進化は最近著しく、それを利用したロボットとか自動運転技術、或いはI O Tなどのニュースは連日の様に流れています。先日びっくりしたのは、チェスや将棋に続いて囲碁までもA Iに完敗したというニュースです。囲碁はその着手の選択肢の多様性から、A Iにとって最難関と考えられていたのに、世界最強の棋士との三番勝負に全勝する完勝だったそうです。また、A Iのニュースで今までとはちょっと違ったものはないかなあ〜と思っていたところ、いくつか目に留まりましたので概要を紹介致します。

ひとつは、ソフトバンクが新卒採用選考にA Iを使用するとのニュースです(朝日新聞、2017年5月30日)。ソフトバンクは、来年4月の入社選考でエントリーシートの一部をA Iに採点させ、その評価に掛かる時間を4分の1に短縮できるという事です。この記事を読んでいたなら、A Iを開発進化させて来た人間が、部分的ではあるがとうとうA Iに評価される様な時代になったなあ〜!と、つつい思ってしまった。



もう一つは、特許庁が特許審査にA Iを活用するとのニュースです(日本経済新聞、2017年4月24日)。特許庁へ出願された特許や商標などがどの技術分野に属するかとか、過去に出願されたものとの対比調査(先行技術調査)に、今夏から活用予定との事です。特許庁にもこの様にA I活用の波が押し寄せています。私達“知的夢工房”でも、A Iを使った新規な発明を追求するだけでなく、特許庁でのA I活用にもしっかり留意し、先行技術調査なども効率よく正確に出来る様に勉強しましょう。

この様にA Iはいろいろの分野で進化し、2030年には現在のホワイトカラーの仕事の半分がA Iに置き換えられるとも予測されています。そうなるとう“人間はその内にA Iに仕事を奪われてしまうのでは？”などと考えていたら、A Iにも弱点があるという記事(朝日新聞、2016年11月25日)に出会いました。A Iは、数学の問題を解いたり、雑談につきあったり、珍しい白血病を言い当てても、意味はわかっていないそうです。即ち、弱点は「まるで意味がわかっていない」という事だそうで、「みなさんは、どうか「意味」を理解する人になってください」と記事は締めくくられています。

私達“知的夢工房”ではいつも発明やアイディアをワイガヤと楽しんでいますが、これは「意味を理解する人」になる為には役立っているのではないのでしょうか？！（黒田武）



皆さん、ワイガヤとヒット商品にチャレンジしながら、
「意味を理解できる人」をも目指しましょう！！



< 知的夢工房への入会のお誘い >

< 発明アイデア好きな人 大歓迎！ 一緒にヒット商品を！ >

<定例会：毎月第1日曜日 13時～17時> <年会費：6千円>

創立1997年 連絡先：050-3344-5032 ホームページ；知的夢工房 <http://www.yume.live/>

